旭が丘幼稚園園研修

1 主題

すべての子どもたちが輝いていられる幼稚園をめざして

～集団のなかで多様な子どもたちの育ちを保障するための教育的配慮とは～

2 主題設定の理由

本園は、数年前より公立幼稚園の集約化に伴い校区外からの入園、また外国につながる子ども、支援を必要とする子どもの入園が増えてきている。校区は新興住宅や集合住宅が多く、他市町からの転入者がほとんどである。そのため、核家族化、保護者自身が子育てや人間関係を相談しにくい環境にあり、入園時には、市の関係機関からの引継ぎが多いのも特徴である。その一方で保護者の教育に対する意識が高く、とても教育熱心である。公文、英語、スイミング、体操教室、柔道、サッカーなどの習い事をさせている家庭も多く、子どもたち自身もその環境のなかで楽しみや自己肯定感を育ててきている子も多い。保護者も子どもも家庭中心の生活から子どもの成長に伴い、近所づきあい、公園デビューと徐々に社会を広げ、当園への入園ではじめての集団生活を始めるため、幼稚園に求められるものが多様化してきているのも確かである。

この現状を踏まえたうえで、すべての幼児が育ちも経験も異なることを念頭に置き、まずは一人一人の子どもとまた保護者と向き合うことが重要である。そして一人一人の課題や目標をはやく見つけ、集団としての環境や手立てを整え、一人一人の育ちを保障していくことが、当園が求められている教育だと考える。しかし、多様な子どもたちの育ちを集団のなかで保障していくためにはどのようにしていくことが良いのか。今までの考え方、教育の仕方を変えていく必要性を感じた。そこで「環境づくり」「集団活動」「個別の支援」「発達の評価と共有」の視点から一人一人が主体性をもって、困り感なく、就学につないでいけるようにしたいと研究主題をあげ、研究を深めていきたい。

3 研究内容及び方法(できるだけ詳しく書いてください)

1. 一人一人の幼児の特性や課題、思い、考えを理解

- ・ 担任一人で子どもをみるのではなく、いろんな先生がかかわり、多方向から個をとらえ、特性にあったかかわりや先を見据えた課題を模索し、全職員で共通理解のもとで、成長を保障していく。
週に2回(火・木)、職員間の話し合いを位置づける。

2. 環境づくり

- ・ 発達段階に応じた遊びの環境づくり
一人遊び→ 平行遊び→ 連合遊び→ 協働遊び の保障
- ・ 人的環境づくり(子どもと教師・子ども同士)
安心と信頼
4歳 「わかってもらえる」「知ってくれている」「頼れる」
5歳 「知ってる」「わかる」「～だと思う」「わかりあえる」
- ・ 落ち着ける、安心できる場の確保

3. 集団活動

- ・ 状況にあわせて保育形態をかえる
全員が同じことをしなければいけないという概念をかえる。

- ・ その子にあった参加の仕方を考える

活動のなかで、その子がきらりと輝ける瞬間があるようにする。
心が動く、活動ができる、そんな場面を大切に、次へとつなげる。

- ・ 意図的なグループ構成の活動も取り入れる

運動、制作、話し合いなど、活動によって個人差があり、得て不得手がある。
個の発達に応じたカリキュラムの編成と集団活動の分散化(少人数化)をはかり、
成長発達を保障していく。

4. 個別の支援

- ・ 支援ファイルの作成。
- ・ 支援会議の実施(学期に1回)
- ・ 関係機関や保護者との連携

5. 発達の評価と共有

- ・ 発達を客観的にとらえる。
- ・ 気になる場面、行動、姿は多方面から分析し、より良い方向に変換していく
- ・ 振り返りや日々の実践を記録として残し、全職員で共有し、改善していく。

4 年間研修計画

研 修 計 画	第 1 学 期	○テーマを自分なりにとらえる・理解する
		○実践したことを発信する・話し合う
		○教師間の共通理解と資質向上

研	第1学期	○テーマを自分なりにとらえる・理解する
修		・ 教育課程・教育時程の作成
計		・ 本年度の研究主題の設定と実施計画の作成
画		・ 学びあったことをとらえ、図式化にしながら共通理解
		・ 年間指導計画の作成
		○実践したことを発信する・話し合う
		・ 日々の子どもの姿からの振り返りと職員間での話し合い(週1回)
		・ 学年会・学年間での見通しをもった話し合いと週案の立案(週1回)
		・ 月案作成と全職員での共通理解(月1回)
		・ 実践の記録と検討(随時)
		○教師間の共通理解と資質向上
		・ すみれ組の研究保育 指導案検討と指導主事の要請
		・ 年間指導計画の振り返り(1学期分)
		・ 1学期の振り返りとまとめ(2学期に向けて)

研 修 計 画	第 2 学 期	<p>○テーマについての理解を深め、検証する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日々の子どもの姿からの振り返りと職員間での話し合い（週1回） ・ 学年会・学年間での見通しをもった話し合いと週案の立案（週1回） ・ 月案作成と全職員での共通理解（月1回） ・ 実践の記録と検討（随時） <p>○教師間の共通理解と資質向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ もも組の研究保育 指導案検討と指導主事の要請 ・ 年間指導計画の振り返り（2学期分） ・ 2学期の振り返りとまとめ（3学期に向けて） ・ 各種研究会参加及び還流学習
	第 3 学 期	<p>○研修の振り返りとまとめをする</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日々の子どもの姿からの振り返りと職員間での話し合い（週1回） ・ 学年会・学年間での見通しをもった話し合いと週案の立案（週1回） ・ 月案作成と全職員での共通理解（月1回） ・ 実践の記録と検討（随時） <p>○次年度の方向性を話し合う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 年間指導計画の振り返り（3学期分） ・ 1年間の振り返りとまとめ（次年度に向けて）